

小学校 6 年

インターネットの投稿を読み比べよう

岸和田市立八木小学校

教科

国語

単元名

インターネットでの議論から考えよう

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用スキル

P-STEP 3, C-STEP 3
E-STEP 3,

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・複数の投稿を読み比べて説得の工夫を考えることができる。
- ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。
(学校図書館等の活用でつきたい力)
- ・複数の文章を読み比べて、分かったことや考えたことをまとめることができる。

単元における学習の展開（全 6 時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第 1 次 (1 時間)	●既習事項を確かめ、単元の見通しを持つ。 ●スポーツのよさについて考える。 ●単元のめあてと学習計画を確認する ・この単元で身に付けたい「言葉の力」を確かめる。 ・学習の流れを確かめ、見通しを持つ。 ・教科書 p 90 ～ p 93 を読んで、教材文への興味や関心を持つ。
第 2 次 (3 時間)	●それぞれの投稿の内容を確かめる。 ・それぞれの投稿について、書き手の立場や意見、そう考える理由や事例を捉える。 ・議論の流れを変えている投稿に注目し、それぞれの投稿による議論の展開を整理する。 ・書き手の議論への参加の仕方について捉える。 ●投稿を読み比べて、説得の工夫を考える。 ・自分が最も共感した投稿について、どのような点に納得したのかを考える。 ・自分が納得した理由を明らかにすることで、どのような理由や事例が説得力を高めているのかに気付けるようにする。 ●納得した理由について交流し、説得力が高い工夫や効果をまとめる。 ・それぞれの投稿で用いられている説得の工夫と、その効果を捉える。 ☆自分の投稿文に生かすために、有名人の言葉やことわざを調べる。
第 3 次 (2 時間)	●投稿文を書く。(本時) ・議論の続きに参加するつもりで自分の投稿文を書く。 ・それぞれが書いた投稿文を読み合い、説得の工夫が感じられるところや、より伝わりやすくなるための改善点を伝え合う。

本時のねらい

- ・説得の工夫に気をつけながら、自分の意見を文章にまとめることができる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	★学校図書等の活用により期待される効果 (言語能力育成のためのポイント)
導入 (5 分)	1. 本時のめあてを確認する。 ㊦ 説得のくふうに気をつけて 自分の意見を書いて投稿しよう	●指導上の留意点等 ●前時までの学習について、掲示物を使って想起させる。 ●これから投稿を書く際に共通理解しておく内容を確認する。 ●これまでに学習した A～E の投稿や「説得の貯金箱」を見返してもよいことを伝え、表現の仕方や説得の工夫を参考にしながら書けるようにする。
展開 (35 分)	2. 議論の続きに参加するつもりで投稿文を書く。 3. 書いた投稿文を読み合い、説得の工夫や伝わりやすい表現について交流する。	★本時までに調べたことわざや有名人を投稿文に取り入れる場合は、これまでに調べた内容を参考にしながら、自分の考えが伝わる投稿文を書くように促す。 ●投稿文ができた児童からロイロノートに提出させ、共有機能を使って児童同士で読み合えるようにする。また、友達の投稿のよい表現や説得の工夫を参考にしながら、自分の投稿文を見直したり、改善したりするように促す。 ★友達からもらったアドバイスや意見のうち、「伝わりやすい」と感じた表現には赤線を、「改善した方がよい」と感じた部分には青線を引くよう声をかける。 ★交流する際の投稿文を見る観点を事前に配付し、児童が確認しながら伝え合えるようにする。 ●モデル動画を見せながら活動の流れを確認し、活動の進め方をイメージできるようにする。
まとめ (5 分)	4. 本時の学習をふりかえる	●次時では、交流で出た意見やアドバイスをもとに、自分の書いた投稿文を見直し、改善していくことを伝える。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・個人で投稿文を書き、ロイロノートにて提出した。その後、共有ノートで友達の投稿文を参考にしながら、自分の表現や内容を見直し、必要に応じて修正を繰り返した。

共有ノートで、自分の表現や内容を見直し、まとめている様子

